

# みんなで考える終末期ケア ～生と死～

静岡福祉大学健康福祉学科本多ゼミでは、終末期ケアについて多くのみなさんに理解してもらえる様にわかりやすい展示を企画しました。

終末期ケア  
とは

死までの生を支え、死別後の家族をも支援するケアを終末期ケアと呼んでいます。

終末期ケアは、死を視野に入れたケアですが、ただ死の訪れを待つケアではなく、死までの日々を自分らしく生きている人を全人的にケアし、死を見つめて生きる人の日々を意味あるものにするケアです。

どのような治療をするかを優先するのではなく、どのように生活し、どのように生きていきたいかを優先します。

本多ゼミと  
りょうしんじ  
龍津寺

本多ゼミは、「終末期」をテーマとして、人生の最終段階を迎える人が、“最善の生を生きるためには何が望まれるのか”“人生最期の数ページに寄り添うために私たちにできることは何か”を探求しています。

令和2年度は、りょうしんじ龍津寺(静岡市清水区)住職の勝野秀敏師を講師に迎え終末期に関する研修をりょうしんじ龍津寺にて行いました。

研修の内容は、資料やパワーポイントをご覧ください。

また今回、勝野秀敏師と本多ゼミが推薦する本を展示しましたので、ぜひ手に取ってみてください。

日時

令和2年12月23日(水)～令和3年1月26日(火)  
9:00～17:00

開催場所

静岡福祉大学附属図書館

お問い合わせ先

静岡福祉大学附属図書館

企画

静岡福祉大学健康福祉学科本多ゼミ／本多図書館委員

共催

静岡福祉大学附属図書館

協力

りょうしんじ  
龍津寺住職 勝野秀敏師